

## 平成25年度

### 一般会計・特別会計・企業会計当初予算の概要

## 原 村

### 付 属 資 料

- 1 会計別予算規模
- 2 一般会計歳入予算
- 3 一般会計歳出予算（科目別）
- 4 一般会計歳出予算（性質別）
- 5 科目別主要事業（一般会計）
- 6 基金見込
- 7 村債残高見込

# 平成25年度当初予算（案）の概要

## I 編成にあたっての基本的方針

日本経済は震災復興需要等により緩やかに回復しつつあるとする向きがあるものの、領土問題や世界経済の悪化による政治・経済は不安定な状況ですが、政権与党が変わり景気浮揚に期待感が高まっています。原村の財政も地方交付税などの依存財源に頼らざるを得ない状況は続いています。第4次原村総合計画の理念である「人も地域も輝く緑豊かな原村」を実現するため以下の各重点施策を推進し、魅力ある村づくりができるよう平成25年度の予算編成を実施しました。

### 1 魅力ある村づくりへの挑戦

- ◇ 第4次原村総合計画後期基本計画に基づく施策の確実な遂行
- ◇ 次世代を担う児童・生徒の健全なる育成と子育て支援の継続
- ◇ 景気・雇用対策の積極的な展開と活力ある村づくりに資する事業の導入
- ◇ 補助金・交付金等を活用した生活基盤の整備と地域づくりの推進
- ◇ 農業と観光の連携による「原村ブランド」の創出
- ◇ 自然エネルギーを活用したエコビレッジの構築

### 2 活力に満ちた地域社会の実現

- ◇ コミュニティ活動や住民による地域づくりへの支援
- ◇ 教育・文化・芸術・スポーツ等の活発な展開による地域間交流の推進
- ◇ 移住交流事業の推進と若者定住への支援
- ◇ 地域循環経済への注力

### 3 安全安心、そして安定した地域社会の確立

- ◇ 大規模災害に対応した施設整備の実施
- ◇ 地域防災計画に基づく総点検と危機管理体制の強化
- ◇ 地域コミュニティを中心とした安全対策の推進

### 4 行財政システムの構築と効率的な活用

- ◇ 電子自治体の推進による住民サービスの向上
- ◇ 事務の効率化と徹底した経費削減策の推進
- ◇ 行政評価、行財政改革による制度・運営の改善
- ◇ 公民協働による村づくりの推進

## II 一般会計予算の概要

### 1 予算規模

平成25年度の一般会計歳入歳出予算総額は 37億3500万円で、前年度当初予算額に比べ 4500万円（1.2%）の増となりました。

この主な要因は、老人医療費給付費1211万円の増、富士見高原病院整備補助金2000万円の増、社会資本整備総合交付金事業による村道改良工事2210万円の増、諏訪広域連合(消防費)負担金1139万円の増、小学校管理棟改修工事3376万円の増などによるものです。また、農道保全等の県営事業負担金2575万円が減となっていますが、景気対策として平成24年度補正予算に前倒したことによります。

### 2 歳入の状況

#### (1) 村税

村税は、7億5458万5千円となり前年度比4934万1千円(6.1%)の減となっています。景気の低迷により個人所得の減少や土地の価格下落により村民税1239万円の減、固定資産税も3700万円の減となり、軽自動車税、たばこ税、入湯税は前年並みです。

#### (2) 地方交付税

国の地方財政収支見通しでは、地方交付税は17兆624億円(2.2%)の減となっていますが、本村の普通交付税は公的資金保証金免除繰上げ償還に係る元利償還金の基準財政需要額への参入方法の変更等により4000万円(2.8%)減の13億9000万円、特別交付税は前年並みの5000万円を見込みました。普通交付税と臨時財政対策債1億7000万円の合計は16億1千万円となり6000万円(3.6%)の減となります。

#### (3) 国庫支出金

国庫支出金は、2億1908万9千円となり前年度比953万5千円(4.6%)の増となりました。主な要因は、障害者総合支援給付金212万円の増、社会資本整備総合交付金390万円の増、学校施設環境改善交付金191万円の増などによります。

#### (4) 県支出金

県支出金は、1億8528万円となり前年度比145万5千円(0.8%)の減となりました。主な要因は、東日本大震災農業生産対策交付金1380万円の皆減、森林整備加速化・林業再生基金事業補助金391万円の減、子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金308万円の減、緊急雇用創出事業補助金740万円の増、青年就農給付金915万円が新規増、参議院議員選挙費550万円が新規増になります。

### (5) 繰入金

繰入金は、3億2196万円となり前年度比1億6356万4千円(103.3%)の大幅な増となりました。

減債基金2億4100万円、庁舎建設基金1000万円、農業振興基金3000万円、保健休養地管理基1000万円、義務教育施設整備基金3000万円を取り崩して繰入れます。

### (6) 村債

村債は、1億8010万円となり前年度比3940万円(17.9%)の減となりました。

主な要因は、公共事業等債(農林県営事業分)2320万円の減、臨時財政対策債2000万円の減、防火貯水槽設置のため防災基盤整備事業債380万円が増となっています。

## 3 歳出の状況

性質別にみると、物件費が臨時職員賃金や委託料の増加により4180万円(6.9%)増、扶助費が老人医療給付等の給付費が伸び1070万円(2.5%)の増、公債費は795万円(2.8%)増、人件費は職員給与の減少により1068万円(1.4%)減、普通建設事業は県営農道事業等が24年度に前倒しされたことなどにより1427万円(4.5%)減となっています。

科目別の状況はつぎのとおりです。

#### (1) 議会費

議会費は、6787万5千円となり前年度比115万2千円(1.7%)の減となりました。

#### (2) 総務費

総務費は、5億4265万2千円となり前年度比555万円(1.0%)の減となりました。

主な要因は、森林整備加速化・林業再生基金事業923万円の減、有線放送特別会計繰出金446万円の減、参議院議員選挙550万円の増、電気自動車購入439万円が新規増です。

#### (3) 民生費

民生費は、10億4842万4千円となり前年度比1155万2千円(1.1%)の増となりました。

主な要因は、老人医療給付金1211万円の増、広域連合介護保険負担金664万円の増、保育所給食棟実施設計費450万円が新規増、保育所臨時職員賃金479万円の減、敬老会事業417万円の減などです。

#### (4) 衛生費

衛生費は、3億2925万5千円となり前年度比1905万8千円(6.1%)の増となりました。

主な要因は、富士見高原病院整備補助金2000万円が新規増、保健師の派遣を受けるための負担金750万円が新規増、予防接種事業255万円の増、諏訪南行政事務組合(ごみ処理)負担金680万円の減などです。

## (5) 農林業費

農林業費は、1億6099万5千円となり前年度比3681万円(18.6%)の減となりました。

主な要因は、鳥獣被害対策協議会補助金1840万円の減、県営事業が平成24年度補正に前倒しされたため負担金が2575万円の減、青年就農給付金900万円が新規増です。

## (6) 商工費

商工費は、2億8891万9千円となり前年度比3169万円(9.9%)の減となりました。

主な要因は、太陽光パネル設置事業2600万円の皆減、温泉ポンプ入替え750万円の皆減、起業チャレンジ補助金100万円が新規増、樅の木荘・自然文化園改修等工事287万円の増です。

## (7) 土木費

土木費は、4億2791万1千円となり前年度比3672万6千円(9.4%)の増となりました。

主な要因は、社会資本整備総合交付金による道路改良工事2210万円の増、村単道路改良工事1360万円の増、河川台帳整備600万円の新規増、下水道特別会計補助金1000万円の減などです。

## (8) 消防費

消防費は、1億6870万5千円となり前年度比2999万8千円(21.6%)の増となりました。

主な要因は、諏訪広域連合(消防署費)1139万円の増、地域防災計画作成897万円の増、消防団員退職報奨金665万円の増、防火貯水槽設置工事514万円の増などです。

## (9) 教育費

教育費は、4億765万3千円となり前年度比2041万4千円(5.3%)の増となりました。

主な要因は、小学校管理棟改修工事3376万円の増、学童クラブ臨時職員783万円の増、小中学校維持等工事854万円の減、中学校食器食缶洗浄機購入492万円の皆減、地区館・分館施設整備補助金505万円の減などです。

## (10) 公債費

公債費は、2億8910万6千円となり前年度比795万1千円(2.8%)の増となりました。

内訳は、償還元金が1226万円の増、償還利子が431万円の減です。

## 5 平成25年度の新規事業

予算編成方針の重点施策に基づいて、下記の新規事業を実施します。

### 1 魅力ある村づくりへの挑戦

◇ 第4次原村総合計画後期基本計画に基づく施策の確実な遂行

- |                     |        |
|---------------------|--------|
| ・富士見高原病院整備事業補助金     | 2000万円 |
| ・地域人権啓発活動活性化事業      | 49万円   |
| ・保健師派遣受入れ負担金        | 750万円  |
| ・村道2013号線高速バス停駐車場工事 | 200万円  |

- ◇ 次世代を担う児童・生徒の健全なる育成と子育て支援の継続
  - ・子ども・子育て支援事業計画策定調査 105万円
  - ・未熟児養育医療事業 77万円
  - ・保育所給食棟建設実施設計 450万円
  - ・小学校管理棟改修工事 3376万円
  - ・中学校剣道用具購入 127万円
- ◇ 景気・雇用対策の積極的な展開と活力ある村づくりに資する事業の導入
  - ・青年就農給付事業 900万円
  - ・起業チャレンジ補助 100万円
- ◇ 補助金・交付金等を活用した生活基盤の整備と地域づくりの推進
  - ・河川台帳整備 600万円
- ◇ 自然エネルギーを活用したエコビレッジの構築
  - ・電気自動車購入 439万円
  - ・電気自動車購入補助 50万円
  - ・木質バイオマスストーブ普及促進事業 102万円
- 2 活力に満ちた地域社会の実現
  - ◇ 教育・文化・芸術・スポーツ等の活発な展開による地域間交流の推進
    - ・郷土の文化財第3集(原村のこて絵)発行 147万円
    - ・社会体育館柔道場畳入替え 73万円
- 3 安全安心、そして安定した地域社会の確立
  - ◇ 大規模災害に対応した施設整備の実施
    - ・地域防災計画作成 897万円
    - ・全国瞬時警報システム保守点検 110万円
    - ・デジタル簡易無線機・衛星携帯電話導入 360万円
    - ・防火貯水槽設置工事 514万円
  - ◇ 地域コミュニティを中心とした安全対策の推進
    - ・消防団旗購入 116万円
    - ・AED設置(指定避難施設7か所) 63万円
- 4 行財政システムの構築と効率的な活用
  - ◇ 電子自治体の推進による住民サービスの向上
    - ・メール一斉配信システム導入 56万円
    - ・情報資産管理システム導入 89万円
  - ◇ 事務の効率化と徹底した経費削減策の推進
    - ・行政手続き制度整備 139万円
    - ・固定資産評価替え時点修正評価業務 199万円
    - ・固定資産土地評価画地計測業務 347万円
    - ・土地評価事務取扱要領作成 48万円
    - ・戸籍副本管理システム導入 235万円

### Ⅲ 特別会計・企業会計予算の概要

#### 1 国民健康保険事業勘定特別会計

歳入歳出予算の総額は、医療費の伸びを考慮し、前年度に対し6400万円（6.7%）増の10億2300万円としました。

歳入では、国民健康保険税の税率等の改定により2283万円（9.0%）増の2億7735万円を見込み、他の財源として、国庫支出金2億1914万円、前期高齢者交付金2億3852万円、繰入金8788万円（内2000万円は法定外繰入金）を計上しました。

一方、歳出については保険給付費を6246万円（10.3%）増の6億7098万円とし、後期高齢者支援金に1億4045万円、共同事業拠出金9911万円、介護納付金に6682万円、特定健診・特定保健指導等や保健予防事業の推進を図るため保健事業費に1743万円を計上しました。

#### 2 国民健康保険直営診療施設勘定特別会計

歳入・歳出予算総額は前年より1480万円（14.5%）減の8720万円となりました。

歳入では、幅広い年齢層と生活習慣病等の安定した診療報酬で、診療収入は前年度とほぼ同じ7481万7千円（0.3%増）を見込みました。前年から引き続き複数の医師による診療を行い医療の充実を図ります。

歳出では、総務費に電子カルテの増設費用・医療事務の充実、また前年度までの繰越金から国保直営診療施設基金に1000万円の積立を計上しました。医業費には備品購入費として、心電図モニター接続パソコンや電動ベッドなどの購入に175万円を計上しました。

#### 3 有線放送事業特別会計

歳入・歳出予算総額は前年度に対し430万円（11.5%）減の3320万円となりました。

歳入は、一般会計繰入金446万円（14.3%）減の2665万円、農協施設維持負担金は前年同額の500万円となります。

歳出は、平成24年度でサラダチャンネル動画映像放送が終了し、取材・編集業務がなくなることにより、人件費が644万円の減額、これまでの映像資産保存業務委託費として166万円、有線放送施設全体の無停電電源装置設置、CATV文字放送設備放送法対応の工事請負費として236万円を新たに計上しました。

その他、施設運営費については例年並となっています。

#### 4 農業者労働災害共済事業特別会計

歳入・歳出予算総額は前年度と同額の110万円となりました。

災害補償金について前年度並の94万円を見込み、この財源として農労災共済掛金・財産運用収入・繰越金等により調整しました。

#### 5 後期高齢者医療特別会計

歳入・歳出予算総額は前年度に対して110万円(1.6%)減の6790万円となりました。

歳入は、保険料4731万円、一般会計繰入金2038万円です。

後期高齢者医療制度の運営は長野県後期高齢者医療広域連合が行っており、村では特別会計で被保険者証や資格証明に関する事、医療給付に関する事等の申請・届出の受付事務や保険料の徴収事務を行い、広域連合に対して保険料等負担金を納付しています。

#### 6 水道事業会計

平成25年度の主な事業としては、配水管布設替工事(柏木地区、やつがね地区)2600万円、第5水源実施設計に1780万円を計上しました。

予算総額では、収益的収入は対前年度125万円(0.8%)減の1億5768万円、収益的支出は対前年度612万円(4.2%)増の1億5131万円、資本的収入は下水道事業からの償還金で対前年度と同額の2400万円、資本的支出は工事請負費の大幅な減額により対前年度1589万円(△20.6%)減の6139万円となりました。

#### 7 下水道事業会計

主な歳出では、流域下水道建設負担金580万円、企業債元金償還金1億9798万円、企業債利息償還金5633万円、水道事業会計への長期借入元利償還金2515万円となっています。

予算総額では、収益的収入は対前年度1061万円(△2.9%)減の3億5425万円、収益的支出は125万円(△0.5%)減の2億5726万円、資本的収入は431万円(126.8%)増の771万円、資本的支出は1378万円(6.3%)増の2億3180万円となりました。